



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビシステムズ、Adobe Creative Suite 5.5 を 小・中・高校での活用に向け、サイトライセンスを発表

本物のツールがもたらす、本物の体験、気づきと学び、
そして 21 世紀を「生きる力」

【2011 年 6 月 1 日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下 アドビシステムズ）は、Adobe® Creative Suite® 5.5 を小・中・高校に手頃な価格で提供する「アドビ小中高校向けサイトライセンス」を発表しました。

アドビ小中高校向けサイトライセンスは、文部科学省に認可されている国公立および私立の小・中・高等学校ならびに地域の教員研修センターを対象とする製品です。本日から予約受付を開始し、7 月 1 日から提供が開始されます。同ライセンス製品は、アドビのボリュームライセンスプログラムである Transactional Licensing Program (TLP) と Cumulative Licensing Program (CLP) のいずれかでご購入いただけます。アドビライセンスストア (TLP のみ) およびアドビシステムズ製品取扱店でのお取り扱いとなります。

アドビ小中高校向けサイトライセンスの対象製品は、Adobe Creative Suite 5.5 Design Standard、Adobe Creative Suite 5.5 Design Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Web Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Master Collection の 5 つの統合製品です。アドビ小中高校向けサイトライセンスは、教育委員会や学校からの要望に応え、限られた予算でも導入しやすい価格帯に設定しました。

アドビ小中高校向けサイトライセンスは、学校では、生徒数や OS に関係なく、選択した Creative Suite 製品を、学校が所有またはリース契約を結んでいる教育用および教職員用コンピューターに最大 250 台までインストールすることができるので、ソフトウェアのライセンス管理や運用の負担を軽減できます。

平成 17 年の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」では「21 世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる『知識基盤社会』(knowledge-based society) の時代である」と言及しています。

アドビシステムズ株式会社 代表取締役社長 クレイグ ティーゲルは「Adobe Creative Suite 5.5 は、実社会において現在進行形で活用されるデザインツールです。同製品を使ってさまざまなコンテンツ制作を体験することで実社会で活用される情報・技術・メディアの特性を学ぶ機会を提供します。その体験を通して子供たちに気づきと学び、そして知識基盤社会で生きる力をもたらします。」と述べています。

教育機関向けのアドビのボリュームライセンスについて詳しくは、www.adobe.com/jp/aboutadobe/volumelicensing/education をご覧ください。

アドビ小中高校向けサイトライセンスに関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。
<http://www.adobe.com/jp/joc/volumelicensing/education/k12/license.html>

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo and Creative Suite are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.